



宮崎県

みまた

よい人、よい町、よい政治。議員が編集した手づくり広報紙

こんにちは**議会**です。



表紙写真: 三股町南九州中学校駅伝大会(三股中男女共に優勝)

Topics

9月定例会(9月9日~9月26日)

町政を問う一般質問(6名)

シリーズ お隣さん、元気~小鷲巣・寺柱~

No. **73**

平成25年11月15日号

繰越の6億9千万円・町の活性化へ 平成24年度決算 認定可決

9月定例会

町議会では9月議会を、9月9日から9月26日までの18日間で開催した。今回の議会に上程された議案は21議案、諮問2件、請願1件、意見書1件、報告5件で、各常任委員会にそれぞれの議案を付託し、審議した。議案の主なものは、平成24年度三股町一般会計歳入歳出決算の認定1議案、特別会計歳入歳出の認定7議案、平成24年度公共下水道道剰余金の処分及び認定1議案、条例の廃止1件、一部の改正3件、平成25年度補正予算8議案、委員の選任2議案となっている。全ての議案が賛成多数及び全会一致で可決した。

公共事業の切れ目を無くす 経済対策の繰越事業

平成24年度一般会計、特別会計の決算について審議が行われた。一般会計の歳入歳出決算総額は89億3,654万円、歳出総額は87億7,996万円。

交付税の減

歳入のうち町税は18億6,366万円、0.1%の増、地方交付税は29億6,225万円、前年度比4%の減、県支出金は7億8,289万円、前年度より14%減となった。

伸び続ける扶助費

歳出は扶助費が22億6,855万円、前年度比55%の増となっている。主な事業費は、下記の通り。経済対策による繰越が6億9,300万円となったが、その主なものは道路整備費として25年度始めに執行する。

※扶助費～児童・高齢者・障害者・生活困窮者などに対して地方公共団体が行う支援に要する経費。

平成24年度決算 こんな事業に取り組みました



子ども手当給付事業
5億2,792万円



保育所運営事業
9億8,292万円



障害者自立支援給付事業
3億4,847万円



道路維持補修事業
1億4,697万円



公営住宅整備事業
5億739万円



一般廃棄物処理事業
1億1,983万円

決算監査の結果を 報告

識見選出の谷山監査委員と議会選出の池田監査委員は、平成24年度一般会計、特別会計それぞれの決算について監査を行った。その結果を意見書にまとめ、町長に提出し、適正であるとの報告を議会初日に行なった。



谷山代表監査員

人事案件

人権擁護委員の推薦

適任と可決



今村理絵氏(新任)



柿原信知氏(再任)

条例廃止

三股町老人福祉センター設置
条例を廃止する条例



旧老人福祉センター視察

条例改正

・三股町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

・三股町債権管理条例の一部を改正する条例

・三股町物品調達基金条例の一部を改正する条例

全会一致で可決

平成25年度 一般会計補正予算

歳入の主なもの

・安心子ども基金特別対策事業補助金
2,447万5千円

・小中学校費補助金
(理科教育設備整備費)
257万1千円

・森林整備地域活動支援交付金
180万円

・口蹄疫復興対策運用型ファンド
事業助成金
300万円

歳出の主なもの

・畑地帯総合整事業

1,281万円

・防災行政無線端末機購入

2,320万円

・保育士等処遇改善臨時特例事業補助金(11園)

2,282万6千円

・備品購入費

(理科振興備品購入)

501万8千円

・第6地区分館駐車場舗装工事
577万5千円

全会一致で可決

平成25年度 特別会計補正予算

・国民健康保険
後期高齢者医療保険

・介護保険

・介護保険サービス事業

・梶山地区農業集落排水事業

・宮村南部地区農業集落排水事業

全会一致で可決



今市公共下水道終末処理場視察

追加議案

工事請負契約の締結

緊急経済対策事業繰越分 榎田・山田・田上線舗装補修工事

1工区 丸昭・国分JV

2工区 大淀・マルシンJV

3工区 木場・木佐貫JV

5,355万円

財産の取得

最終処分場油圧シヨベル購入
コマツ宮崎株式会社

596万円

可決

請願

子どもの医療費無料化を小学校卒業まで引き上げをを求める請願

趣旨採択

意見書

子どもの医療費無料制度を早期に創設することを求める意見書

道州制導入に断固反対する意見書

可決

※おわび

議会だより72号の一般会計補正予算、歳入で県支出金の金額を、528万円に訂正



国民健康保険条例の一部改正に対する反対討論の中の、「その時」が必要ありませんでした。

ここが聞きたい



池邊 美紀議員 …………… 5p 掲載

- (1)どぶろく特区としてどのように進めていく計画か
- (2)全国学力テストの結果と教育行政の方針を問う
- (3)河川浄化の取組みと今後の方針は
- (4)空き店舗の今後の対応を聞く

内村 立吉議員 …………… 6p 掲載

- (1)地区座談会どう受けとめているか
- (2)宮崎牛定義の一部見直しへの影響は
- (3)町民スポーツ祭のソフトボール部門への企画に工夫を
- (4)学校の部活動・町民生活での熱中症対策は
- (5)宮村小学校プールの老朽化の対策は

上西 祐子議員 …………… 7p 掲載

- (1)消費税率引き上げに伴う影響は
- (2)空き店舗の調査や活用について
- (3)難聴者への支援に磁気ループの設置を

指宿 秋廣議員

- (1)交通事故の現状は
- (2)自転車による事故状況は
- (3)小中学校での交通ルール教育について
- (4)自転車運転免許証の交付について

桑畑 浩三議員 …………… 8p 掲載

- (1)認可保育園への措置費はいくらか
- (2)無認可保育園をどうとらえているか

池田 克子議員 …………… 9p 掲載

- (1)自主防災組織への指導は
- (2)要援護者の名簿作成への取り組みは
- (3)防災備蓄施設の現状は
- (4)商店街の活性化対策は
- (5)駅前活性化委員会の設置について

一般質問は6人。どぶろく特区や熱中症対策、空き家空き店舗、交通事故の防止、防災対策についてなど三股町が抱える様々な問題について白熱した議論が展開された。(一般質問は6人であったが、本人の都合により5名の掲載となる。)



このままの学力でいいのか

町長 まだまだ努力が必要



池 邊 美 紀 議員

問 今回の全国学力テストの結果と今後の方針は。

教育長 結果は小学校国語活用問題と算数で、全国、県の平均以下。中学校も国語・数学共に全国、県の平均以下。各学校に学力向上対策を命じた。

問 基礎学力向上のために町内テストを実施してはどうか。

教育長 校長会などで検討する。

問 このままの学力でいいと思うか。他県のように平均以上の学校を公表してはどうか。

町長 まだまだ努力が必要。様々な影響があるので公表はしない。

空き店舗対策は

問 幹線道路沿いに空き店舗が増えているが今後の計画は。

町長 まず、空き店舗の現状把握、所有者の意向調査をする予定、これにより再開の意思、賃貸や売却の可能性、店舗の大きさや間取りなどを確認し次につなげていく。

問 町長はどのようなイメージをもって進めようとしているのか。

町長 調査結果を踏まえて大局的見

地から、関係機関と連携して進めていきたい。

どぶろく特区の展開は

問 醸造所2件目が誕生、特区として今後の展開は。

町長 2件目が誕生したことや、日本最南端のどぶろく特区をアピールしていきたい。

問 どぶろく特区は全国に100ヶ所以上点在し珍しくない状況にある、つまみや特産品なども取り込んだセールスにすべきでは。

町長 現在もどぶろくを使った商品があるので伸ばしていきたい。

河川浄化の対策は

問 排水路、下水路の浄化をどのように進めるか。

町長 公共下水道整備、合併浄化槽整備を進めていく。



どぶろくの商品

要望

学力向上
保護者にとっては今が大事。子供たちの将来のために町内テストなど、スピード感を持って対応すべき。

空き店舗

具体案としてアトリエロードの延長や、クラフト教室などの活用もある。町のリーダーとして明確に方向性を示してほしい。

河川浄化

バイオコードなど安価なものもあるので検討すべき。

地区座談会を どう受け取っているのか

町長 町政改革に取り組む 施策の一つである



内村 立吉 議員

問

第4回の地区座談会が、行われた。年間行事計画並びに新規重要事業等について説明があった。聞くところによると、意見を述べようとすると、話を聞いてその中で意見を述べようとすると、また、地区で活発に意見の所。意見を聞く方に回っている所など、それぞれだと思ふ。この地区座談会をどのように受けとめているか。

町長 この開催の目的は、町民総参加のまちづくりの実現のため、町民の皆様のご意見などを、幅広く町政運営に反映させることにある。町民の皆様と直接コミュニケーションを図り、本町のまちづくりについての意見を交換し合うことは、非常に有意義なことだと考えている。この座談会は、多くの意見や、要望に対して、今後十分協議していかねばならない。これは、町政改革に取り組む上での重要な施策の一つである。

問

今年の夏は猛暑が続いた。人間の体は、熱の産出と放出のバランスが崩れる為、その結果、体

猛暑、今年の夏の熱中症対策は

温が上昇し、さまざまな症状が表れる。それが熱中症といわれている。その熱中症への対策は。

町民保健課長 町の取り組みとして、広報みまたに熱中症予防を掲載し、また町主催の熱中症予防の講話をしている。

教育長 三股中学校の部活動やスポーツ少年団の対策としては、運動前の水分補給、運動中においても、こまめに水分をとるよう、そして、休憩をとるよう指導している。

宮村小学校プールの老朽化対策は

問 老朽化が著しい宮村小学校のプールの塗装がはがれ、足裏を怪我をしたとの話を聞いた。小学校プールの対策は。

教育長 宮村小学校のプールの修繕等は、必要のつど維持補修している。今後も児童に事故や怪我がないように、安全管理に取り組んでいく。今後、児童の事故防止策を強化し、安全管理を目指していく。

は「宮崎牛」一部定義の見直し

問

「宮崎牛」の一部定義の見直しについて平成27年4月1日から県内で、出生、肥育された血統が、明確な黒毛和種、肉質等級が4等級以上のものとするところがあるが、市場の動きはあるのか。

産業振興課長 この一年間における事業実績などからすると、牛の7割が、この条件をクリアしている。問題ないと思う。



地区座談会のようす

消費税率引き上げに伴う影響は

町長 国の対策を注視して 対処したい



上西 祐子 議員

問 安倍内閣は来年4月から消費税を5%から8%に増税しようとしている。

消費税が8%に増税されると国全体で約8兆円、10%になれば約13.5兆円の増税となる。

国民の暮らしと営業が長期にわたって痛手を受けているもつで史上空前の大増税で所得が減れば、暮らしと営業を破壊するだけでなく、日本経済を奈落の底につきおとすことになるのではないか。

本町では公務員の給料が減らされ、年金も10月から引き下げられる下で、消費税が上がったら生活は益々苦しくなるばかりだ。町長は町民生活への影響をどう考えるか。

町長 消費税は全品目に課税されるので消費税逆進性の問題から低所得者層の負担が増大する。

また増税による景気の腰折れも懸念されるので政府は消費税引き上げと合わせて景気経済対策や低所得者対策を検討するとしている。これらの対策の内容を注視して即応できるように対処したい。

問 消費税アップは町の物件費、購入費等も影響すると思うが、どの位アップするか。

税務財政課長 平成24年度決算で歳入にかかる消費税は5%で216万5千円、8%になると336万7千円

で差引き120万2千円の増となり、歳出では5%の時が9,736万6千円、8%になると1億5,147万3千円、差引き5,409万7千円の増額となる。

歳出に係る消費税から歳入に係る金額を差し引くと5,289万5千円が消費税の負担増となる。

本町の空き家対策は

問 全国的に人口減や高齢化に伴い空き家が増加し、景観や防災・防犯などの面で対策が求められる。

本町では空き家調査をされたと聞くと、その数と今後の空き家活用をどうされるのか。

地域政策室長 空き家調査を昨年9月から11月にかけて行った。

これは①老朽空き家の防災・防犯及び生活環境保全への対応②空き家の有効活用による居住の安全確保など今後の住宅政策を検討するための基礎的資料を得るための調査で、約360件ほどの空き家を確認した。今年度は空き家の所有者に対して維



三股町役場周辺



消費税が8%に

持管理の状況や有効利用する意向などを聞く「空き家に関するアンケート調査」を行いたい。

今後はアンケート調査の結果を精査し有効活用策の資料にしたい。また賃貸・売買など希望する物件の情報を町ホームページに掲載し、希望する方へ情報を提供する「空き家バンク」制度も考えている。

無認可保育園への対応は

町長 国からの情報を基に 慎重に検討する



桑 畑 浩 三 議員

問 認可保育園の措置費はいくらか。

町長 平成24年度の保育所運営負担金の決算額は9億8,292万円であった。この額から国・県の補助金及び保育料を差し引いた額2億7,096万円は、町の一般財源から拠出している。

問 無認可保育園をどうとらえているか。

町長 無認可保育園は多様な保育ニーズに対処するため、必然的に出来たものと考えている。とりわけ都市部では休日、夜間、保育やフレックス就労、児童待機などへの対応など認可保育所を補完する役割を果たしており、子育て世代の仕事と家庭の両立を支援する、重要な役割を担っている。

本町にも2園の無認可保育園がある。認可保育園と同等の保育水準と思うが、一般的には保育にかける状態にない園児がいることや児童福祉施設最低基準を満たしていない保育施設として位置づけている。そのようなことから、保育所の支援については、国・県の施策に沿った対応が基本だと考えている。現在は、保育従事者と園児の健康診断料について

国・県にあわせて補助しているところである。

しかし、国においては少子化対策の一環として、新法「子ども・子育て支援法」を制定し、平成27年から施行予定としている。認可外保育施設への解釈も変わると予想される。現時点ではこのような状況であるので、今後国からの情報を基に、認可外保育施設への対応を検討していくことにしている。

問 認可保育園はどこも定数をオーバーしているか。どの位オーバーしているか。

福祉課長 認可保育園の総数は、11園であるが、その定数751×20%（150名）がオーバーしている。

問 無認可保育園が認可を得るに
ればいいのか。

福祉課長 認可するかどうかは、県が決めるが、市町村が認可申請すれば、県は認める方向にある。

問 無認可保育園は待機児童解消の役割を担ってきた。無認可も認可の子も同じ三股の子である。町は平等に扱うべきである。少なく

とも町が一般財源から出している補助金は町で出来ることだから、平等になるよう検討せよ。

町長 無認可保育園を認可に持っていけないかどうか、まずは調査して取り組んでみたい。



英(はな)保育園



エーデルワイス幼保育園

合同避難訓練を 全地域で実施させよ

総務課長 自主的な実施地域に 側面から支援する



池田 克子 議員

問

平成23年度に策定された「三股町地域防災計画」の中に、各自主防災組織等は、地域住民の防災行動力の強化・防災意識の向上、そして年1回以上の組織的な訓練を実施するよう努めるとある。自主防災組織の内容充実への指導は。

総務課長 地域との情報の共有化に努め、地域全体で防災対策に取り込む体制の強化に努める。

問

4・5・6地区は合同避難訓練をしているが、他の地域はしていない。全地域で実施するよう指導できないか。

総務課長 来年度は第2地区を検討している。その他の地域は自主的に実施しようとする所に側面から支援する。

問

自主防災組織のリーダーは公民館長である。リーダーへの「防災士研修会」は実施しているのか。

総務課長 実施していない。今、県が実施している防災士取得の講習を受けている人がいる。その人たちと共に公民館長への研修会を新年度から実施する。

問

「災害対策基本法改正案」が先の通常国会で成立した。その中で要援護者の名簿作成が義務づけられた。取組状況は。

福祉課長 平成24年度で要援護者ネットワーク台帳を整備した。常に最新の状態を保つため定期的に更新作業も行っている。

問

今回の法改正で個人情報保護に特例がもつけられた。社協や民生委員にも情報が共有できないか。

総務課長 要援護者に事前確認をとって了解を得た場合は良いが、個人保護法があるので難しい面もある。しかし、災害時には情報を出せるように検討したい。

問

防災備蓄設備の設置場所や内容は充実しているか。

町長 役場東側の旧土地改良協会倉庫を防災備蓄倉庫として改修し年次的に備蓄品等の内容充実に向けている。

問

各地域ごとに備蓄倉庫が必要ではないか。今後の設置予定は。

町長 長田地域・蓼池地域・宮村地域等を考えている。

商店街の活性化に秘策を

問 最近空き店舗が増えている。商店街活性化に向けての対策は。

町長 塚原団地の改築をし、今、駅周辺の整備を進めている。文化会館・役場・五本松住宅の跡地の活用等、駅前周辺のトライアングルの位置づけの中で、中心地の活性化を視野に入れていきたい。

問

駅前活性化委員会の設置を検討しては。

町長 商工会との定期協議の中で検討していく。



備蓄倉庫の中の様子

全国市町村議会 議員特別セミナー



全国市町村議会 特別セミナー

ものを活かし、自給力と創造力を高めたいけるような社会を作っていくことが重要であり、新しい方向性について考えるきっかけにしていたきたいということであった。全国各地の人材育成と地域づくりの事例を聞き、有意義な研修ではあったと思う。

●池辺議員

員の役割」と題して講演。その内容は住民の要望と行政の意識のズレがあるか、地域協働を推進する事で解消。又、議員は、住民から幅広く意見を把握し、自発的な能力向上・改革が求められる内容であった。次に、北海道東川町長松岡市郎氏は「写真の町宣言」。地域性と行政経験の元、斬新な取り組みを紹介。最終日は、総務省地域力創造アドバイザーの椎川忍氏による「地域力の創造と地方の再生」と題し、やねだんの地域おこしや行政マンとして職員の意識改革などについて学んだ。2日間を通して、日頃から自己や行政との意識改革や自己研鑽の必要性を認識した有意義な研修であった。

●内村議員

初日午後から、市町村変遷に伴うことや議会と首長、住民との関係について学んだ。次に松岡町長は、「写真の町宣言」をし、職員の知力と実行力を求める行政の転換を図り、住民福祉の向上に努めている。最終日は、自立と創造と精神のもと、地域に昔からある

町村が抱える課題のノウハウを学ぶことを期待して受講した。岩崎氏は海外の議会制度、選出のしくみの紹介、日本との比較、マックスウエーバーの政治家の資質にまで踏み込んだ講義であった。松岡町長は、3期で培った実行力と成果を発表。特に予算、前例、人材など、無い無いづくしの行政改革を意識改革として進め、「前例踏襲型」から職員の実行力を求める「個性踏襲型」の転換に成功された。また、企業や学校法人との連携で企業誘致、写真甲子園、海外との交流などアイデアにあふれたアドバイザーまちづくりを構築。椎川氏は、全国のまちづくりの成功事例や地域おこし協力隊の活用方法や地域担当職員制度を解説。今回の研修を通して熱意と実行力の大切さ、行政意識改革の重要性を学び、大変有意義な研修となった。

全国広報研修会に参加して

第79回町村議会広報研修会が9月30日～10月1日まで東京のシェーンバツハ・サポー会館で行われた。文章表現やデザインの基礎知識、広報クリニックス等の研修を受け、年々高度になっていく講習に改めて、編集の責任を感じております。今後とも皆様方に御愛読いただくよう努力致します。



全国広報研修会

●堀内議員
「町村議会議員特別セミナー」が10月10・11日滋賀県大津市で開催され、今回三股から3名の議員が参加した。初日は筑波大学教授の岩崎美紀子氏による「町村が抱える課題と町村議会議

追跡

レポート



「日本一の牛肉の町」のフレーズを活用する町の取り組みは

「日本一の牛肉の町」のフレーズを町として利活用し、町のさらなる活性化並びに宣伝に役立てるべきだと思う。
平成 24 年 12 月定例議会 一般質

町長答弁

既存のパンフレットに「日本一の牛肉の町」のシールを貼るなど、様々な案を関係機関と相談しながら検討したい。

こうなりました



暗い道路・危険箇所の点検と改善策は

具体的にどのような形態で、いつ頃計画し、規模はどのくらいか問う。

平成 24 年 12 月定例議会 一般質問

町長答弁

本町には防犯灯だけでも 1500 基ある。これを一斉に LED するには、5 千万円程費用がかかるので、年次的に考えていきたい。

こうなりました



LED 防犯灯の設置された通り (山王原)



いよいよ建設 都城市郡医師会病院起工式 (平成25年9月29日)

議会事務局からのお知らせ
12月議会は、12月9日からの予定
町民の方の多くの議会傍聴をお待ちしています。



小鷺巣 自治公民館

【小鷺巣地区では】

「青少年の健全育成」と「交通安全の徹底」に力を入れています。地域環境美化、資源ごみの回収などボランティア活動の参加を積極的に行なっています。

内村敏成 館長



みんなと心一つになった“なわ飛び”競技



名月にふさわしい楽しいひとときでした！



「地域で支える行事」



寺柱 自治公民館

【寺柱自治公民館では】

「明るく元気な地域づくり」「子孫に継げるきれいな地域づくり」をスローガンに、地域の活動に積極的に参加、環境美化活動に理解を深め自ら実践することを目標にしています。

野崎勝雄 館長



よーい はっけよい

自治公民館を中心に、子ども会、壮年会、地域活動クラブなど、きっと活躍できる場所があります。隣近所の方々との親睦で、安心できる住みよいまちにしましょう。

自治公民館加入案内
三股町・三股町自治公民館連絡協議会
電話 52-1111 内線 181



編集後記

広報委員も新しくなり半年が過ぎ、愛読される広報誌にしようと悪戦苦闘しているところです。暑さも過ぎ、めっきり肌寒くなりました。この時期、秋の行楽シーズンを迎える季節になります。

九州の中でも佐賀県の九年庵の紅葉、大分県の耶馬溪の紅葉は目をひくものがあります。ぜひみなさんも出かけてみてはいかがですか。

すばらしい光景を目にやきつけて、思い出作りなど記念に残してみたいかがでしょうか。

今年も残り少なくなりました。今後もしっかりと議会が、みなさんに愛読されるように努力していきます。

議会広報編集常任委員会



- 委員長 堀内 義郎
- 副委員長 池田 克子
- 委員 福永 廣文
- 委員 佐澤 靖彦